

碧南市子ども・子育て支援事業計画

子どもたちに安心・安全を約束できますます へきなん

問合せ こども課育成支援係

市では平成22年より5年間にわたり「碧南市次世代育成支援対策地域行動計画（へきなん次世代ハートプラン）【後期計画】」に基づく169項目の子育て支援施策・事業に取り組んできました。

4月からは新たに「碧南市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼児期の教育・保育事業や地域の子育て支援事業の利用の見込みと提供体制の目標を具体的な数値として示しました。次代を担う子どもたちが健康に、健全に成長できる環境の実現を目指し、更なる子育て環境の充実を図ります。詳細は市ホームページをご覧ください。

計画期間 平成27～31年度

計画の内容

1. 教育・保育提供区域の設定

市全域を1つの区域として設定します。

2. 幼児期の教育・保育の利用見込と提供可能人数

事業名	25年度実績	31年度利用見込	31年度提供可能人数
保育所	1,715人	1,772人	1,975人
幼稚園	519人	480人	860人
合計	2,234人	2,252人	2,835人

3. 地域子ども・子育て支援事業の利用見込と提供可能人数

事業名		25年度実績	31年度利用見込	31年度提供可能人数
時間外保育（人／日）		174	202	202
放課後児童健全育成事業（人／日）		478	625	733
子育て短期支援事業（回／年）		7	39	39
一時預かり事業（回／年）	幼稚園	16,047	13,874	13,874
	そのほか	3,682	3,605	3,605
病児・病後児保育事業（回／年）		11	45	45
子育て援助活動支援事業（回／年）		772	723	723
地域子育て支援拠点事業（回／月）		3,530	3,462	3,462
利用者支援事業（人）		—	3,366	3,366
乳児家庭全戸訪問事業（人）		598	529	529
養育支援事業（人）		2	4	4
妊婦に対する健康診査（人）		651	529	529

4. 幼児期の教育・保育の一体的提供および推進

公立幼稚園5園、公立保育園5園、私立保育園9園により、幼児期の教育・保育を提供しています。全幼稚園で預かり保育および全保育園で定員に空きがある場合には私的契約児（3歳以上児）の受入れを行い、8時～16時は保護者の就労形態にかかわらず、利用施設を選択することができる体制が整っています。

5. 子育て支援施策の充実を図るための関連施策

①産後の休業および育児休業後における特定教育・保育施設などの円滑な利用の確保

ホームページや広報を通して、保育サービスなどの情報提供の充実を図ります。

②市民が安心して子どもを産み育てられる環境整備

第3子以降の保育料無料化および同時入所の半額減免の継続や、児童クラブの受入れ学年・時間の拡大および施設の充実により、安心して子どもを産み育てられる環境を整備していきます。

③子どもに関する専門的な知識および技術を要する支援

要支援家庭には、保育・教育機関、児童相談センターなど関係機関と連携し適切に対応していきます。

④労働者の職業生活と家庭生活との両立支援

夫婦が共に子育ての喜びを感じることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指します。

⑤ひとり親家庭の自立支援

母子・父子自立支援員による就労や給付の相談など多様な支援体制を整え、生活の安定を図ります。

⑥障害児の保育と養育支援

保育園・幼稚園による加配をはじめ、にじの学園などによる細やかな保育・療育を継続するとともに、早期支援・専門支援などの体制を構築し、発達の遅れや障害をもつ子どもたちの健やかな成長を目指します。